



PRIME
TOKYO

2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 楠元健一郎
(コード7918、東証プライム市場)
問い合わせ先 執行役員コーポレート企画室長 田口雅規
電 話 番 号 03-5155-6801

特別損失の発生に関するお知らせ

2023年3月期 第4四半期連結会計期間において、当社及び連結子会社にて下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の特別損失の発生及びその内容

当社は、当第4四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社扇屋西日本への貸付金の一部について債権放棄を行い、関係会社支援損480百万円を計上いたしました。また、連結子会社に対する貸付金について回収可能性を検討した結果、株式会社扇屋東日本、株式会社一丁、株式会社一源及び株式会社紅とんへの貸付金に対し貸倒引当金を積むこととし、特別損失として貸倒引当金繰入額826百万円を計上いたしました。これらにより、当事業年度においては、個別決算で特別損失1,321百万円を計上いたしました。なお、当社の個別決算で計上される上記特別損失は、連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 当社の連結子会社の特別損失の発生及びその内容

当社の連結子会社は、当第4四半期連結会計期間において、既存店舗の収益拡大のための業態転換及びリニューアルを実施し、これらに伴う固定資産除却損6百万円を計上することとなりました。

また、契約期間の満了又は不採算であった11舗について閉店を決定いたしました。加えて、将来キャッシュ・フローによる設備投資額の回収が困難と見込まれた店舗につき、固定資産の減損を実施したこと等により、減損損失275百万円、店舗閉鎖損失引当繰入額27百万円、店舗閉鎖損失13百万円を計上することとなりました。

さらに、連結子会社の所有する固定資産の譲渡に伴う固定資産売却損33百万円を計上いたしました。

上記の結果、当第4四半期連結会計期間において、連結子会社の特別損失計上額は402百万円であります。なお、当事業年度(4~3月)における連結子会社の特別損失計上額は482百万円であります。

3. 当社連結業績に及ぼす影響

上記特別損失につきましては、本日公表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上